

上信越高原国立公園（草津・万座・浅間地域）の 公園計画の変更（一部変更）の概要について

1. 背景

上信越高原国立公園は、群馬県、長野県、新潟県の3県にまたがり、浅間山、四阿山、白根山、岩菅山等の火山群やそれらの山麓の火山性高原、谷川連峰等の構造山地に、巨大な溶岩台地である苗場山の地域等を合わせた我が国を代表する山岳及び高原景観地です。

草津・万座・浅間地域は、昭和24年9月7日に指定され、平成19年3月20日には公園計画の全体的見直し（再検討）が行われ、平成27年3月、平成30年8月及び令和3年8月に一部変更が行われています。

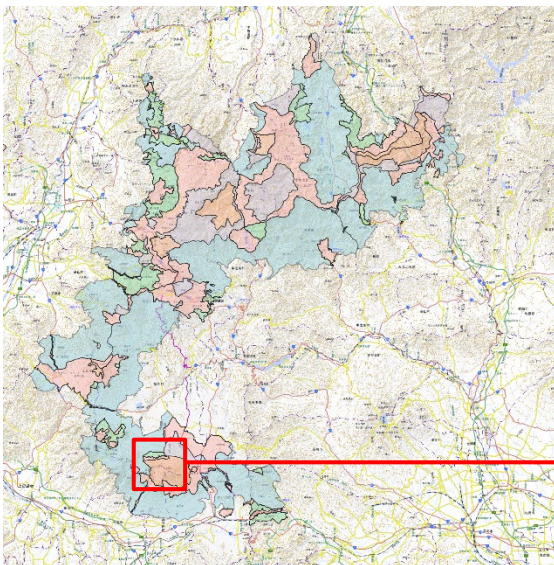
今般、浅間山ジオパーク推進協議会（事務局：嬭恋村及び長野原町）が作成した浅間山北麓ジオパーク行動計画 Action Plan 2022-2025 及び浅間山北面登山安全確保計画（嬭恋村）において、過去に利用されていた浅間山北面登山道の整備と安全利用の取組が計画されました。浅間山周辺に新たな歩道が整備されることで、長野県と群馬県にまたがる登山道の周遊性の向上が見込まれ、宿泊やガイド利用の促進により、国立公園の適正な利用の強化を通じて、国民の保健、休養及び教化に資することが期待できます。追加される歩道は、浅間山火山防災協議会の噴火警戒レベルに連動した安全対策や遭難対策が講じられる計画となっています。

以上のことから、浅間山周辺の公園利用に資する公園計画の一部変更を行う予定です。

2. 変更案のポイント

保護規制計画については現行のとおりとします。利用施設計画については、浅間山の噴火の痕跡を活用したガイド付きジオツアーの造成を図るとともに、北麓の適正利用を強化するため、道路（歩道）計画の路線を追加します。

上信越高原国立公園



【今回の変更内容】

黒斑山登山線道路（歩道）の変更：

鬼押出園地から北面登山道・歩道合流点の路線（通称：浅間山北面登山道）の追加

黒斑山登山線道路（歩道）



3. 変更案の詳細

○利用施設計画

・道路（歩道）

変更：黒斑山登山線